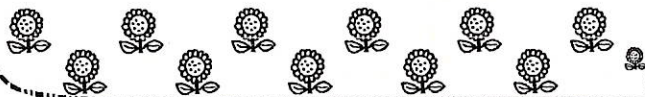


陽あたり、良好!



令和3年

2月19日(金)

【No. 36】

『先輩になるということ』

2月も半ばを過ぎ、学年末考査が近づいてきました。来週の(例)休日の3日間で、9教科の試験が行われます。みなさんは6月にひばり中に入学して以来、3回の定期考査を経験してきました。そして、この4回目が1年生を締めくくる最後のテストということになります。これまでの経験を生かしてしっかりと準備を行い、自分の力をすべて出しきってほしいものです。試験まであと5日ですが、明日からの土日、そして試験前日の祝日と、まだまだ時間はたくさんあります。ここは、本当に正念場です。最後まであきらめずに、粘り強く取り組んでいきましょう。



さて、先日の水曜日の5校時に、道徳の研究授業が行われました。この取組は、ひばり中の先生たちの研修活動の一環として、道徳の授業内容の充実を図るために行われたものです。1年生の全クラスで同じテーマを定めて、授業の進め方を研究し、教材やワークシートの準備なども、1年生の全先生で行ってきました。そして今回、取り上げたテーマというのが、『先輩になること』という内容でした。あと2ヶ月もしないうちに、みなさんは“先輩”と呼ばれることになります。そんなこの時期に、ぴったりのテーマだったのではないのでしょうか…。

当日は、ひばり中の全先生が4つのクラスに分かれて、授業見学を行いました。どのクラスでも、活発な意見交換が行われ、1年生の頑張っている姿を見てもらうことができました。授業では、まず最初に、「自分の思う良い先輩像」を考えてもらいました。“優しい”“ていねいに教えてくれる”“話しやすい”“手本になる”“注意してくれる”…、実際の先輩たちの姿も思い出しながら、たくさんの意見が寄せられました。

その後、ある中学校での部活動を舞台とした、『先輩になるということ』という読み物を取り上げました。部活動に伝わる「6つのルール」について、“変えるべき派”と“変えないべき派”に分かれて、それぞれの立場から意見交換を行いました。そうすることで、自分が所属したグループの意見を深く掘り下げて考えてみたり、相手のグループの意見をしっかりと受け止めることができたようです。その結果、読み物を最初に読んだときには感じなかったことや、気づかなかったことにも目を向けることができました。

そして授業の最後に、これまでの意見交換を通じて考えたことを踏まえて、「自分は先輩として、何を大切にしていきたいと思いますか?」という質問に答えてもらいました。

みなさんから様々な意見が寄せられて、読んでいてとても頼もしく感じました。これならば、4月からひばりが丘中学校の2年生として、後輩のお手本となる“素敵な先輩”になっていけるのではないかと、期待がふくらみます。

残りわずかとなった1年生としての学校生活は、良い先輩になるための「準備期間」です。意識を高くもって、充実した毎日を送っていきましょう！

《先輩になるにあたって大切にしていきたいこと》～「道徳ワークシート」より

【A組】

- ⑤「自分達のことだけでなく、後輩のことも考え、お互いの意見を尊重し合える関係を築きたい」
- ⑤「後輩だったとき、自分がいやだなと思っていたことは後輩にしない」
- ⑤「長く続いてきた伝統であっても、それが正しいか疑問をもち、改善してくれること。後輩を気づかう気持ち」
- ⑤「後輩を思いやる気持ちをもつ。これからは、後輩の気持ちを考えて行動できるようになる」
- ⑤「1年生の嫌がることは絶対にしない。上下関係も築きつつ、1年生に正しいことを教えること」
- ⑤「自分達の意見を通すだけでなく、後輩たちの意見をしっかり聞き取れるようなこと」
- ⑤「自分のためになることや自分中心の考え方ではなく、“活動”はみんなで協力し助け合い、高めていくものだと思っているため、周りのためになることを考え行動するべきだと思う」
- ⑤「自分だけがいいという考えをやめて、後輩も自分も楽しく過ごせる学校生活を大切にしたい」
- ⑤「後輩達が困っていたら助けたり協力したりなど、後輩たちは自分達のことを見て、こうなりたい、こうはなりたくないなど感じるからこそ、手本になるような行動をしていきたいです。また、思いやりの心や、自分が先輩に抱いた頼もしさなどを、感じてもらえるような先輩になりたいです」
- ⑤「楽しくない人がいないように、自分が後輩だったらどう思うかというのを考えて、押しつけみたいなのはやめて、時には厳しく、優しい先輩になろうと思った」

【B組】

- ⑤「厳しいルールとかは関係なく、後輩に優しく、自分から積極的に動いて、後輩と良い関係を築けるようにしたい」
- ⑤「後輩が、この学校に入ってよかった、こんな先輩になりたいと思われるような行動をしていきたい」

- ⑤「実際、私の部活は厳しい規則とかがないけれど、後輩が“この部活は過ごしにくいな”と思わないように、みんなが平等で過ごしやすい雰囲気を作っていきたいと思った」
- ⑥「どのような思いをしているか、このことを考えて行動していけたらいいと思う。また、周りに流されず、もし何かあったとしても責めない人になっていきたい」
- ⑦「後輩の思いを考えて、自分達のためにじゃなくて、全体のためにみんなで行動していくことで、後輩・先輩の仲が深まって楽しくなれると思った」
- ⑧「後輩が辛そうではないか、楽しくできているかを考え、常にみんなが納得できることをしていくことが大事だと思う。後輩を思いやり、常にアドバイスをできる、みんなから信頼される先輩になりたい」
- ⑨「先輩は、自分が通った道の中で、おかしいと思ったことを変えていかねばならぬと感じた。自分は先輩として、視点が1年生と同じで生活していきたいと思った」
- ⑩「今までされて嬉しかったことは、今度は後輩にしていかなければいけないし、いやだったことは自分達はしないようにするのが大事だと思う。また、ルールだけではないけれど、良い伝統を受け継いでいくのは大切だと感じた」
- ⑪「この話のようなルールがない部活だから、あいさつとかの礼儀はちゃんとしてもらいつつも、私達が手伝える部分は手伝っていきたい。今の2年の先輩は、少なくともそうしてくれていると思う。そんな2年生のようになりたいと思った」
- ⑫「先輩には、伝統を改革するか、継承するか判断が委ねられている。もし、改革するとなると、その利点や欠点を考えるので、難しい決断になる。いずれにせよ、全員が同じ目線で、同じ目標に向かって歩んでいけるように教え、優しく厳しく、笑顔を振りまけるような先輩になりたい」

【C組】

- ⑬「自分だけでなく、後輩のことも気遣えるような先輩になりたい。1年生に“先輩だから”ではなく、“先輩だからこそ”一緒になって作業したり、後輩の理想の先輩になりたいという思いを大切にしていきたい」
- ⑭「先輩として、困っている後輩がいたら手を差し伸べてあげたい。また、ささいなことでも気づけるような、気遣いができる先輩になりたい」
- ⑮「後輩が学ぶために仕事を任せたり、ルールを決めたりすることも大切だが、それが“先輩”という立場を利用して、楽しんでいるような言い回しにならないようにした方がよいと思う」
- ⑯「優しく接したり、いろいろなアドバイスをしたりなど、後輩達から信頼される先輩になりたい。そのために、今のうちから先輩としての態度を学んでいきたいと思った」
- ⑰「後輩が辛い思いをする様子をただ見ているのではなく、一緒に乗り越えることができるように考え、サポートしていく。いざとなったら頼ってもらえるような存在になる」
- ⑱「自分が先輩にしてもらった良いことは後輩にしてあげて、あまり良くないと思ったところは後輩にしない」

- ⑤「ちゃんと周りを見て、後輩だけでなく仲間全員を大事に思う気持ちや、それを行動に移す実行力などを大切にしたいと思った。後輩のお手本になるような行動、思考、判断を大切にしたい」
- ⑥「自分も後輩のお手本となりながら、後輩に社会に出たときのことを考えて、礼儀もしっかりと教えていくことが大切だと思った」
- ⑦「いつまでも1年生の心、つまり初心を忘れないようにしていきたいです。先輩になったら気づけない、1年生だから見えることがあると思う。それは、実際私が体験したことだし、初心を忘れていない先輩はキラキラしていてかっこよかったです。私はそんな先輩に救われたので、私もそんな人になりたいと思いました」
- ⑧「自分から率先して物事に取り組んで、後輩の手本となるような、憧れられるようにしたいと思う。また、後輩を引っ張るというより、後ろから支えられるようにすると良いと思う」

【D組】

- ⑤「後輩に対してちゃんと礼儀もあり、周りのことを考えて行動していく。4月から、優しさとけじめを大切にしていく」
- ⑥「後輩のことを考えて思いやる。自分達で積極的に行動できる。時には優しく、時には厳しく」
- ⑦「先輩は自分の意見だけでなく、周りの意見もしっかり聞いて行動していくのが大切だと思います。自分が先輩になったら、後輩の目線からも物事を考えて行動するようにしたいです」
- ⑧「厳しすぎないけど、怒るときはしっかり注意したりして、いい部活にする」
- ⑨「自分にとって良い先輩だと思う理想の先輩像を思い描き、自分もそんなふうになれるように意識しながら行動することが大切だと思った」
- ⑩「自分が1年生だったら、ということを考えながら行動することを大切にしたい」
- ⑪「誰かがではなく、自分がと意識する。自分からよりよくしていこうと考える。一人だけが大変にならないよう助け合う。相手の気持ちを考える」
- ⑫「後輩と一緒にやることはしっかりとやって、みんなが公平な部活にしていきたい。そして、自分が先輩になったら後輩に寄り添って、頼ってもらえるようにしたい」
- ⑬「常に周りのことを考え、みんなが公平に仲良くできるようにする。自分達が後輩の手本になれるようにしたい。“自分も後輩も成長できる”ということを目指したい。後輩だけでなく、自分も後輩から学ぶ！」
- ⑭「自分のことだけでなく、他人のことを思いやることを大切にしていきたい。また、誰かだけが苦しい思いやつらい思いをするのではなく、そういう思いをしている後輩がいたら、手を差し伸べてあげることが大切」